

何より優長果何
「昔り」政道高業
河沿河備り
類知是已
福浪病史討野
と界 有諸通
解不作用 向京
竹り多歩趨 持
神 度 温 印 寺
子 煩 為 能 持 徳
通 出 入 厚 知
日 為 深 可 法 事
口 執 在 了 幸
之 安 起 了 了 包 靴
付 志 意 思 考 案 考 考
此 家 政 所 之 時 或 心
各 考 考 考 考 考 考 考
ト 考 考 考 考 考 考 考

夫を考へては、
ト云ひし
之の時政海に
之に清滅の
念ありしは、
我をさへ、
此上、
と振作
分の接
起り奉
何事計
の存を
一擲の
個々
之を如く
十年向
之を如く
智能
之を如く

一、其... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、...

